

ななみんたより

Nara City
Information

奈良しみんだよりは
1200号&70周年を迎えました

11月

令和2年
(2020年)

No.1200

写真：新斎苑を結ぶ橋梁と奈良盆地（10月15日現在）

※工事の進捗は3ページに掲載

もくじ contents

選ばれるまちをめざして

重点施策の進捗をお知らせします p2-4

新型コロナウイルスと共に生きる時代に対応

命と生活を守る、「新しい生活様式」
を見据えた補正予算 p5

令和元年度

奈良市の決算と財政状況 p6-7

辰巳琢郎さんインタビューや昔の写真紹介等

奈良しみんだより1200号&70周年 p8-9

市政の発展に尽くされたみなさんを表彰

令和2年度 奈良市表彰 p10-11

生活 p12 健康 p13 子育て p14

シニア・しごと p17 募集・催し p18

スポーツ p20 文化情報 p21

生涯学習 p24



重点施策の進捗をお知らせします

奈良市では、近年のめまぐるしく変化する時代や社会へ適切に対応するため、そして将来にわたって「選ばれるまち」であるために、さまざまな取り組みを実施しています。今回は、市がどのような点に力を注いでいるのかを、直近の進捗状況とともに、**4つのテーマ**に分けて紹介します。

もっとオープンで コンパクトな 自治体へ



『職員の意識変革』

組織診断の結果に基づき、職場ごとにアクションプランの作成と実施、振り返りを行う研修を行いました。

『市債残高の縮減と財政健全化』

市債残高の減少や職員適正化等の財政負担削減により、将来負担比率（収入に対して「将来支払うべき負担」の割合）を着実に改善しています。（くわしくは7ページ）

『コンビニ交付・出張所改革』

スマートフォンからの事前申請やマイナンバーカードの活用により、窓口では申請書を書くことなく引越しの手続きが可能となりました。



▲この他、行政手続の簡略化等のため、申請書や届出書等の押印の省略を始めています。今後も行政手続における必要な見直しを進めます

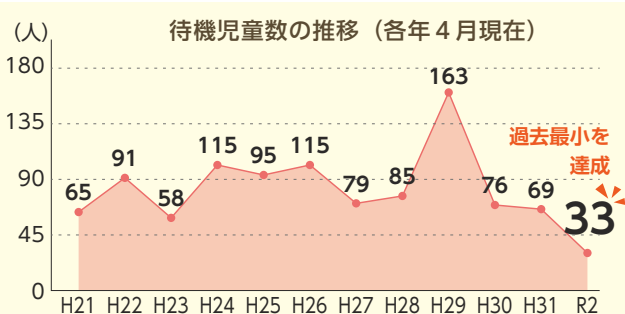
『(仮称)奈良市子どもセンターの設置』

日常の子育て相談から発達等の専門相談までワンストップで対応し、児童虐待等の緊急事案にも対応できる（仮称）奈良市子どもセンターを、令和3年度に開設できるよう準備を進めています。

『待機児童の解消』

保育施設の増設と、処遇改善等による保育士確保を進めています。令和元年度は民間保育所等を4園開園しました。

令和元年12月に開園した
登美ヶ丘マミーズ保育園▶



令和2年度、待機児童数は過去最小を達成

『病児保育の充実』

令和元年11月に「mランド保育園」を開園しました。また、市内の病児保育施設3施設全てで延長保育を実施しています。

令和元年11月に開園した病児保育園
「mランド保育園」



子育て・ 教育環境の充実で、 未来の世代への 先行投資



『バンビーホームでの夏休み等の食事提供』

夏・冬・春休み等45日間で、44,175食を提供し、出席児童の42%が利用しました。

『子ども医療費の窓口払い軽減』

県内医療機関で、令和元年8月診療分から未就学児の医療費助成で窓口の立替え払いが不要となりました。（窓口での負担は通院500円、入院1,000円の自己負担のみ。ただし保険適用に限りです）

『休日夜間応急診療所への小児科医全日配置』

平成31年4月から、夜間診療所に小児科医を全日配置しています。

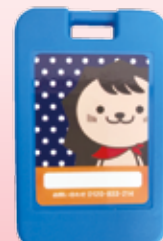
『計画的な学校の長寿寿命化』

今年度中に学校施設長寿寿命化計画を策定し、今後、校舎トイレの乾式・洋式化も含め、効果的に施設整備を行っていきます。

『登下校時の通学路の安全対策』

全市立小学校に登下校見守りシステム「ツイタもん」を導入し、運用しています。

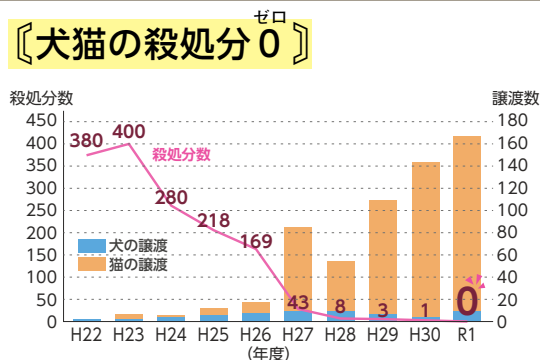
登下校見守りシステム「ツイタもん」▶



医療・介護・福祉の連携による、きめ細やかな福祉の実現



『犬猫の殺処分0』



令和元年度は犬猫の殺処分0を達成しました。令和2年度も10月15日現在、0件を維持しています。

『買い物支援』

日頃の買い物に困っている人への支援を行うため、各地域のニーズの掘り起こしや対応策の検討について関係者と協議していきます。令和2年10月にセブン-イレブンと連携した市内での移動販売を開始しました。



富雄団地での移動販売▲

『避難所の機能の充実』

避難所における新型コロナウイルス対策物資も含め、備蓄を進めています。

『子どもの貧困等新たな福祉課題への対応』

ひとり親世帯または就学援助受給水準にある世帯の中学3年生を対象に学習支援を実施し、高等学校等への進学を支援しました。

『令和4年春の新斎苑完成をめざします』

Pick Up!

平成30年度から進めている新斎苑の建設。令和2年8月に主要地方道奈良名張線と新斎苑建設予定地を結ぶ橋梁が完成しました。

『在宅医療と介護の連携』

在宅医療・介護連携支援センターにおいて199件の個別相談支援を行いました。また、作成した入退院連携マニュアルの運用方法を関係機関に周知しました。

『科学的データに基づいた地域別の予防医療』

医療データを活用し、喫煙習慣がある人にCOPD（慢性閉塞性肺疾患）に理解を促す啓発や、糖尿病性腎症の重症化を予防する事業を行っています。

『市役所庁舎の耐震化』

令和3年3月の完了に向けて工事を進めています。耐震化により安全性を確保するとともに、窓口環境整備により利便性を向上させます。

新しくなった庁舎1階
市民ホール
(東側) ▶



新斎苑の工事の進捗をお知らせします

現東山霊苑火葬場は大正5年に開設され、数回の改修を経て現在に至りますが、老朽化が著しく、さまざまなニーズや将来的な火葬件数増加への対応が困難です。

現在、市では人生終焉の儀式的場にふさわしく、やすらぎのある、また環境や景観に配慮した新斎苑の整備を進めています。現在の工事の進捗を写真で説明します。

写真で見る 橋梁完成まで



4 上部架設工事 (令和2年5月)



3 橋脚の躯体工完了 (令和2年3月)



2 橋脚鉄筋組立～コンクリート打設工事 (令和2年1月)



1 橋脚の仮設工事 (令和元年5月)



5 橋梁完成 (令和2年8月)

写真で見る 現在の様子 (令和2年10月)

■橋梁から新斎苑施設への構内通路の整備



敷地奥へ



■敷地造成の様子

敷地造成工事により発生した残土を搬出します。搬出後、ここに新斎苑施設を建設します。

令和4年春の供用開始に向け、建設予定地の敷地造成工事等を進めています。進捗状況は引き続きしみんだより等で報告します。

『大和西大寺駅の南北自由通路建設』

南北自由通路工事が完了し、令和2年4月から「いつでも、安全に、安心して」南北を自由に往来できるようになりました。

新しくなった
大和西大寺駅と
南北自由通路▶



『奈良電力鴻ノ池パークをはじめとする 市内の公園のリニューアル』

ならでんフィールドにバナー付きの街路灯を設置しています。平城第2号公園では、トイレ工事が完了しました。

『リニア新駅設置の誘致活動』

令和元年度はPR用パンフレットを新たに作成し、新駅設置の要望活動を行いました。（現在、啓発活動はSNS等で実施）

『八条・大安寺地区のJR新駅周辺の整備』

「奈良市八条・大安寺周辺地区まちづくり懇話会」を設置し、県・市連携によるまちづくりを検討しています。

『グリーンセンター問題の解決』

令和元年12月に建設候補地を公表しました。ごみ処理広域化については、参加市町村確定に向けて検討しています。

『柳生街道や山の辺の道等の 古道を生かした滞在メニューの開発』

既存看板（11か所）の多言語化が完了しました。また、東部地域の滞在時間を増加させるため、「さとやま民泊」を推進し、メニューの開発を行っています。

▼奈良の自然を生かした食や体験が堪能できる「さとやま民泊」



『市内での起業を促進』

市内で起業家を生み育てる拠点として、令和2年3月に創業支援施設を「BONCHI」としてリニューアルオープンしました。

▼リニューアルした「BONCHI」。今年10月に2020年度グッドデザイン賞（日本デザイン振興会）を受賞しました



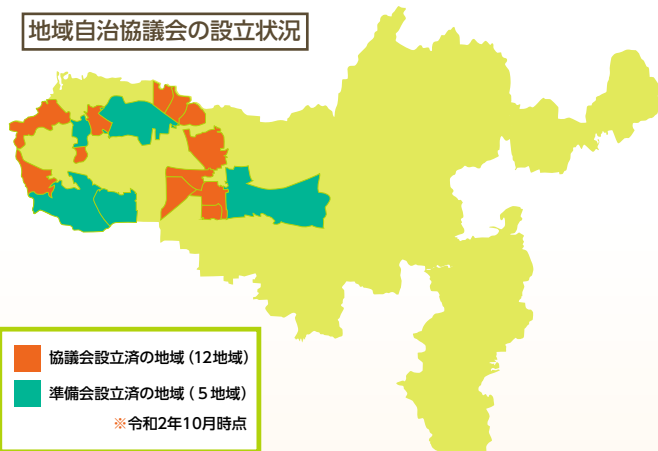
県・市連携による まちづくり & 奈良市の 成長戦略



『地域自治協議会の創設』

各地域で主体的に地域の課題解決に向けた活動ができるよう、地域自治協議会の設立を支援しました。（令和2年10月現在、12地域で創設）

地域自治協議会の設立状況



『滞在時間のさらなる延長で観光を真の基幹産業へ』

多言語コールセンターや観光案内所の運営を通じて、コロナ禍でも安全・安心な観光ができるよう情報提供を行っています。

『奈良電力鴻ノ池パークを少年刑務所跡や 旧ドリームランド跡地と一体活用』

奈良電力鴻ノ池パーク内の道路が完成し、ジョギングコースや少年刑務所跡ホテルへのアクセス道路として利用できるようになります。

『東アジアの国々との交流促進』

西安市第一保育院から子どもたちと教師が奈良を訪れ、平城こども園で交流を行いました。

命と生活を守る、「新しい生活様式」を見据えた補正予算

(新型コロナウイルス感染症対応費分)
9月補正予算 総額：27億2,706万円

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、継続して対応します。

1 医療提供体制の整備と感染拡大の防止



医療提供体制の整備：10億2,873万円

ドライブスルー方式によるPCR検査体制の拡充や、クラスター発生時にも対応できる検査体制整備を行います。また、市立奈良病院の病床確保に対する支援や、人工呼吸器、CT撮影装置等の医療機器、個人防護具を整備します。(担当課：医療政策課、保健・環境検査課、保健予防課)

学校・園等の感染拡大防止対策：2億344万円

学校、園、バンビーホーム等の感染症対策を徹底するため、消毒液、非接触体温計等の衛生用品や、感染拡大防止用の備品を購入します。また、保護者が感染した際の子どもの「預かり支援」「在宅支援」を行います。(担当課：保育総務課、保育所・幼稚園課、子育て相談課、教育総務課、地域教育課、保健給食課)

公民館・図書館の感染拡大防止対策：4,505万円

安心して利用できるよう、公民館は空調・換気設備を導入、中央図書館は体温検知機能付きカメラ(サーモグラフィ)、飛沫感染防止のための間仕切り(パーテーション)等を導入します。(担当課：地域教育課、中央図書館)

2 生活・事業継続に困っている市民・事業者等への支援



高齢者の外出支援：6,330万円

通院や買い物等でバスを利用する高齢者に対し、ななまるバスチャージ優待券1,000円分を配布します。くわしくは、11月中旬頃にななまるカード利用者へ案内を送付します。(担当課：長寿福祉課)



プレミアム付商品券の発行：3億4,000万円

経済的影響を受ける家計の支援と、売上が減少している市内事業者を支援するため、プレミアム付商品券の対象を全世帯に拡大して、抽選で二次販売を行いました(現在受付は終了しています)。(担当課：産業政策課)

3 デジタル化・非接触社会への対応



保育ICTシステムの導入：2,504万円

園児・職員等が感染した場合の保護者への一斉緊急連絡、欠席・遅刻連絡のシステム化、園からのお知らせのデータ配信等を可能にする「保育ICTシステム」を導入します。(担当課：保育総務課)

※ICT…通信技術を使って人とインターネット、人と人がつながる技術のこと

国民健康保険手続きのオンライン化：2,343万円

これまで窓口への来課や送付で行っていた国民健康保険手続きを、スマートフォン・パソコンでも行えるよう、オンラインシステムを導入します。(担当課：国保年金課)



4 新たなくらしと将来を見据えた対策



学校ICT化の推進：1億370万円

保護者への配布物のデータ配信や、健康診断結果等の電子化を図る「統合型校務支援システム」の機能を拡充します。

また、一条高等学校では、生徒一人1台の端末を整備し、臨時休業時のオンライン授業への対応や、クラウド環境を活用した各教科・探究※・ArtsSTEM教育※の授業支援、家庭学習や進路実現に向けた支援を図ります。(担当課：学校教育課、一条高等学校)

※探究…「総合的な探究の時間」の学習活動

※ArtsSTEM教育…教科の枠にとらわれない文理融合教育



令和元年度

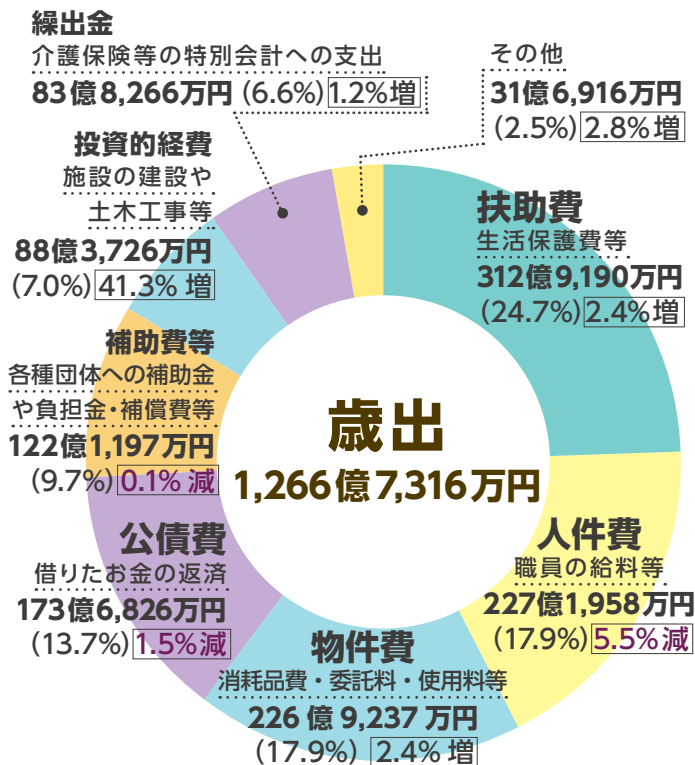
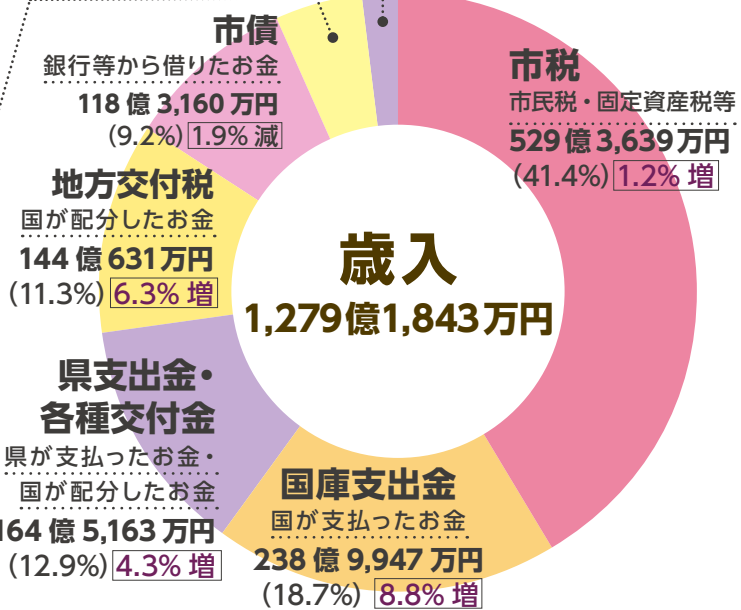
奈良市の決算と財政状況

※ () 内は令和元年度の構成比
□ 内は対前年度比

分担金および負担金・使用料および手数料・諸収入
60億352万円 (4.7%) [7.4% 減]

その他
23億8,951万円 (1.8%) [25.7% 減]

市税の内訳	決算額	対前年度比
個人市民税	231億4,372万円	1.6% 増
法人市民税	35億1,898万円	0.5% 増
固定資産税	196億2,280万円	1.1% 増
軽自動車税	6億1,690万円	4.1% 増
市たばこ税	16億8,884万円	1.0% 増
入湯税	2,413万円	19.7% 減
事業所税	10億1,783万円	0.1% 増
都市計画税	33億319万円	1.0% 増



性質	決算額 上：R1 下：H30	対前年度比	主な増減内容
扶助費	313億円 306億円	+7億円	障害者への介護給付費等・訓練等給付費支給 (+6.1億円)
人件費	227億円 240億円	-13億円	職員の給料・期末勤勉手当 (-6.2億円)、職員の退職手当 (-5.5億円)
物件費	227億円 222億円	+5億円	プレミアム付商品券発行事業経費 (+2.7億円)、民間保育所措置経費 (+0.8億円)、しみんだより等発行経費 (+0.7億円)
補助費等	122億円 122億円	増減なし	下水道事業会計繰出経費 (-3.0億円)、社会福祉事務経費 (+2.5億円)
投資的経費	88億円 63億円	+25億円	小・中学校、幼稚園空調設備設置事業 (+14.4億円)、本庁舎耐震事業 (+6.0億円)

令和元年度の一般会計は、11億3,669万円の黒字決算となりました。今後も引き続き、さらなる財源の確保と市債発行の抑制、緊急度・優先度を踏まえた事務・事業の精査や効率化に努めながら、これまでの行財政改革をさらに推進し、本市財政の健全化に取り組んでいきます。

〔問合せ〕財政課 ☎ 34・4720

一般会計は11億3,669万円の黒字決算に

一般会計の決算は、平成30年度と比べ歳入では国庫支出金や地方交付税が増加しましたが、歳出においても社会保障関係費や教育施設の空調整備事業費が増加する等厳しい状況でした。しかし、職員給与の見直し等により、経費の節減を進めるとともに、行政サービスの質の確保に配慮しながら事業の精査や効率的な予算執行等に努め、前年度に引き続き黒字決算となりました。

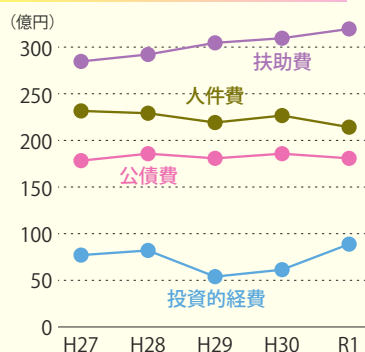
特別会計（特定の目的のための会計で、本市では8の会計）について、令和元年度は、住宅新築資金等貸付金特別

会計が約5億5千万円の赤字決算となった以外、他7特別会計は収支均衡、または黒字決算となりました。

また、公営企業会計（市が運営する企業の会計で病院事業、水道事業、下水道事業の3会計）については、それぞれ以下のとおりの決算となりました。

会計区分	収益合計	費用合計	当年度純利益
病院事業会計	7億9,703万円	8億4,859万円	△5,156万円
水道事業会計	86億4,697万円	79億719万円	7億3,978万円
下水道事業会計	72億4,707万円	73億3,623万円	△8,916万円

主な性質別経費の推移



義務的経費 (※1)：人件費は、管理職加算の見直しや給与の独自カット、退職手当の減少により、平成 30 年度に比べ減少しています。補助費は、障害者に対する給付費等の社会保障費の増加により年々増加しています。公債費は、利子の支払額減少により、平成 30 年度に比べ減少しています。

投資的経費 (※2)：小・中学校、幼稚園空調設備設置事業や、本庁舎耐震事業等の実施により平成 30 年度に比べ増加しています。

※1…削減することが困難な費用である人件費（職員の給料等）、補助費（生活保護や障害者支援等の社会保障）、公債費（過去に借りたお金の返済）

※2…学校や公園、道路といった公共施設の建設費等の資本形成に関わる経費

財政指標で見る決算

それぞれの自治体が「どれくらい財政に余裕があるか」「将来見込まれる負担の大きさはどの程度なのか」といった財政状況を共通のルールにより客観的に表しています。

指標名	令和元年度	平成30年度	対前年度比	説明（中核市 60 市中の順位）※ 1
財政力指数（3カ年平均）	0.77	0.77	—	その自治体の運営に「標準的にかかる経費」を地方税等の「標準的な収入」でどの程度まかなえているかを表す指数です。この指数が 1 以上なら自治体が年間に必要とする経費以上に税収等があり、豊かな自治体といえます。（38 位）
経常収支比率	99.7%	100.8%	1.1ポイント改善	人件費や補助費等の「通常必要な経費」を地方税等の「通常の収入」でどの程度まかなえているかを表す比率です。この比率が高いほど自由に使えるお金が少なくなり、財政構造の硬直化が進んでいることを表しています。（56 位）
実質公債費比率（3カ年平均）	11.2%	11.9%	0.7ポイント改善	一般会計等の借入金（地方債）の返済額やこれに準じる額（公営企業会計の公債費にあてる繰出金）等の標準財政規模（※2）に対する比率です。（55 位）〔早期健全化基準：25.0%〕
将来負担比率	137.3%	153.0%	15.7ポイント改善	一般会計等が負担すべき実質的な負債（地方債残高等）の標準財政規模に対する比率です。（59 位）〔早期健全化基準：350.0%〕

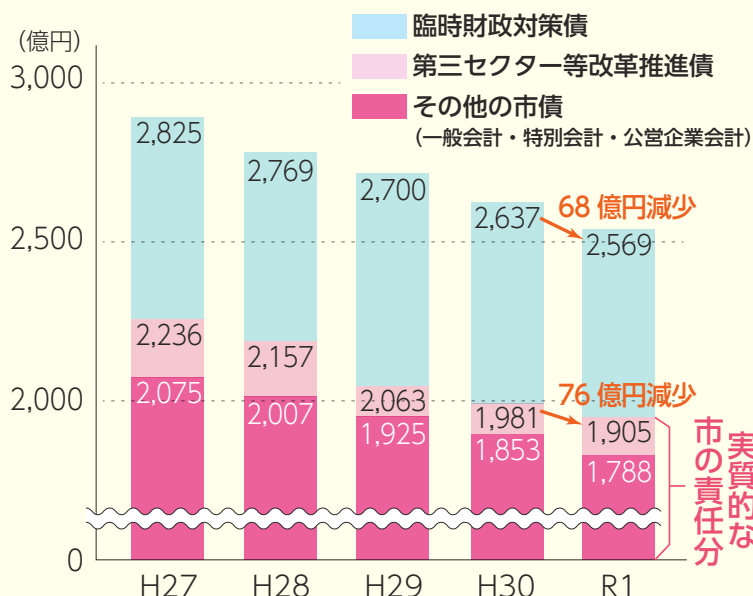
※1…中核市順位は各市の速報値のため、今後変動する場合があります ※2…標準財政規模とは各自治体の一般財源（市税等、使途が特定されていないもの）の標準的な規模をいいます。各比率の詳しい説明は、市ホームページに掲載しています

市債（借金）残高は減少傾向

過去の施設整備等に伴う市債（借金）が多く残っていますが、将来世代の負担を軽減できるよう市債残高の減少に努めています。結果、全会計の合計が平成 30 年度に比べ 68 億円減少し、特に国の負担の肩代わり分を除く市の責任で返済しなければならない「実質的な市の借金」としての市債残高は 76 億円減少し、1,905 億円となっています。

臨時財政対策債：国からの地方交付税総額の不足に対応するもので、いったん市が市債として借入れ、後年度の元利償還金が地方交付税により全額補填されます。

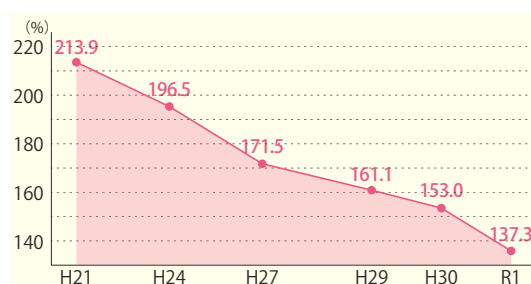
第三セクター等改革推進債：多額の負債を抱えていた公社等を清算（解散）するために発行した市債です。

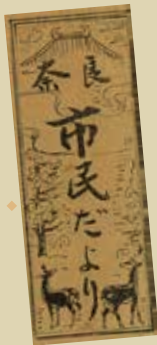


将来負担比率は毎年度確実に改善

将来負担比率は、収入に対して「将来支払うべき負担」の割合です。この割合が大きいほど将来に負担を残すことを表しています。

「実質的な市の借金」としての市債残高は減少しており、また、職員定数の適正化等の財政負担軽減への取り組みにより、将来負担比率は毎年度着実に改善しています。





これまで、これからも。

奈良しみんだより1200号 & 70周年記念企画

奈良しみんだよりとともに

奈良しみんだよりは、昭和25年(1950年)9月1日に第1号を創刊し、おかげさまで今回70年目、1200号を発行することができました。広報紙は本来市政をお知らせするものですが、その時代の世相や雰囲気を映す出す鏡でもあります。そんなしみんだよりを通じて、さまざまな時代の奈良市をのぞいてみましょう。

また今回1200号を記念して、奈良市観光大使・辰巳琢郎さんからのメッセージも紹介します。

【問合せ】秘書広報課 (☎ 34-4710)

しみんだより、まるごと70年分。
ホームページで閲覧できます

昭和、平成、令和の3時代にわたる数々の写真や市政のあゆみを見ることができます。誕生日や記念日の月等を検索して、あなたのお気に入りの1ページを見つけてみてはいかがでしょうか。(一部欠号あり)

奈良しみんだより 検索



広報紙で見る

奈良市の今と昔

時代とともに変わる奈良市の風景。

広報紙から切り取った昔の写真と現在の写真を比較しました。

奈良遷都 1250 年祭

昭和35年9月15日号掲載(猿沢池付近)



近鉄学園前駅付近

昭和42年1月15日号掲載



奈良県庁、奈良公園前の横断歩道

昭和41年5月1日号掲載



今



人と鹿がともに横断歩道を渡る様子は、昔も今も変わらない奈良の日常風景です。

今

平城遷都 1300 年祭

50年後の平成22年に、華々しく開催。(平城宮跡第一次大極殿前)



今

駅北側のバスロータリーには屋根がつき、横断歩道橋も設置されました。



覚えていますか？
奈良しみんだより1200号
までの歩み

500号

昭和57年11月15日



「特集」古都の秋飾る初の市文化祭
市民参加型の芸術祭典
文化祭を開催

100号

昭和41年3月1日



「特集」整備されていく教育施設
体育館や中学校の建築現場写真
をお披露目

創刊号

昭和25年9月1日



記念すべき第1号は、当時の市長の「発(発)刊のことば」から始まります。
特集記事は「奈良国際文化観光都市建設法」。同法案の賛否を問う住民投票では、投票率アップのため、賞金の当たる抽選も。結果は可決に。



私が好きな、奈良の風景。

～奈良市観光大使・辰巳琢郎さんに聞く～

平成 27 年 9 月 17 日に奈良市観光大使に就任した、辰巳琢郎さん。東京在住の辰巳さんですが、時折奈良を訪れては食べ歩き等を楽しんでいるそうです。そんな辰巳さんに 1200 号を記念して、今の奈良について思うこと、奈良のおすすめ風景について尋ねました。



俳優 辰巳 琢郎

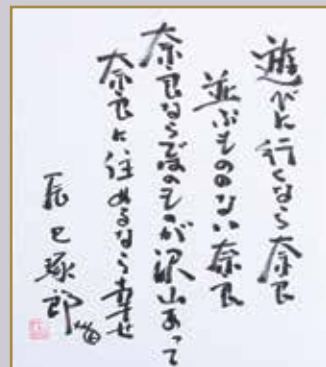
昭和33年(1958年)8月6日生まれ、大阪市出身。NHK大河ドラマ等、数々の映画・ドラマに出演するほか、食通・ワイン通としても知られる。

奈良は、コンパクトなサイズ感が魅力

奈良市の魅力について、「長い歴史があることと、やはり、街なかに鹿がいることでしょう。世界でも唯一ではないでしょうか。あとはコンパクトなサイズ感だと思います。」と答えてくれました。

また幼少期の思い出として、「小学生の時の遠足で、初めて訪れた奈良公園の鹿は衝撃的でした。奈良ドリームランドも楽しかったですね。」とも。

学生時代を大阪市で過ごした辰巳さんにとって、奈良市は生駒山の向こう側の風景として思い出されるそう。今後は奈良市観光大使として新たな「奈良の風景」の発掘を期待しています。



辰巳さんからの直筆メッセージ

辰巳さんおすすめの風景

薬師寺



薬師寺食堂 田淵俊夫筆「阿弥陀三尊浄土図」

「先日、薬師寺のご僧侶にゆっくり案内していただきました。東塔の修理が完了し、西塔と比べることができて大変興味深いです。日本画家の田淵俊夫氏、建築家の伊東豊雄氏が手がけた食堂も気に入っています。」※令和2年の食堂特別公開(秋季)は11月30日まで

辰巳さんおすすめの風景

ならまち界隈



「近鉄奈良駅から商店街を抜け、歩き回るのが好きです。行くたびに新しいお店を発見したり、迷路のようで楽しい。夜の街もまた味わいがあります。地ビールや地酒のお店等も楽しいですね。」

編集後記

編集に携わる職員より「大切にしていること」

市政情報を正確に分かりやすく伝えることを一番大切にしています。また、「奈良ってやっぱりいいな」と思ってもらえるように、文章や写真、デザインにもこだわっています。遠い未来ではありますが、2000号発行を迎えられるよう、1号1号を丁寧に積み重ねていきたいと思ひます。



紙面制作の打ち合わせ

1199号

令和2年10月1日



「特集 伝統工芸品のある暮らしを楽しむ。」
なら工芸館の設立20周年記念企画として市内の職人等を取材

1100号

平成24年7月1日



「特集 奈良めぐり 近代建築を見つけれ！」
明治から昭和初期にかけて建築された特色のある建物を紹介

1000号

平成16年3月1日



「特集 春季火災予防運動 1000号記念として、別冊 市民のみなさとともに歩んだ1000号」を発行

令和2年度奈良市表彰

(敬称略、順不同)

市政の発展に尽くされたみなさんの功績や善行を広く顕彰します。例年は11月3日「文化の日」に表彰式を行います。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を中止し、被表彰者に直接表彰状を贈ります。

【問合せ】秘書広報課 ☎34・4710

有功表彰 (15人)

12年以上その就任に議会の同意を必要とする職にある人

市農業委員会委員



巽 一孝
中畑町

教育、学芸、文化、産業等の発展について特にその功績が顕著な人



中室 雄俊
池田町

市教育長 11年

奈良商工会議所常議員等



鍛冶 佳広
雑司町

市政の発展等に関し、特に功績が顕著な人 (2人掲載辞退)

自治会長 20年以上



西窪 正男
南村塚町

民生委員・児童委員 25年以上



北條 幹一
北小路町



佐藤 彪
中登美ヶ丘一丁目



荻野 末子
左京三丁目

社会教育委員 20年以上



奥田 益三
西ノ京町

消防団 25年以上



大谷 知章
法用町



野口 隆治
神殿町

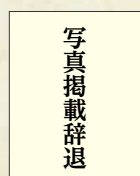


徳本 和晃
大安寺二丁目



中田 清文
阪原町

写真掲載辞退



堀内 崇次
山町

功労表彰 (112人)

教育、学芸、文化、産業等の発展又は社会福祉の向上についてその功績が顕著な人

スポーツの振興に貢献等

早瀬 文雄 秋篠町
池田 和昌 大安寺六丁目

観光の振興に貢献

富永 良一 奈良県生駒市

文化の振興に貢献

山崎 雅子 南京終町

岡部 里香 鹿野園町

三本 美和子 西千代ヶ丘一丁目

伝統産業の振興に貢献

米谷 慎 奈良県生駒市

自治会長

岡崎 忠直 法蓮町

丸山 清文 肘塚町

佐埜 清 宿院町

細野 理 高畑町

三井 利昭 紀寺町

西浦 弘望 鵠町

増井 清澄 大宮町六丁目

中川 良夫 古市町

長谷川 勝利 西木辻町

楠木 英彦 大安寺四丁目

北岡 明 西木辻町

遊田 博行 南永井町

辻 健一 南京終町四丁目

梅森 昭雄 菅原町

万年青年クラブ連合会会長

堀内 敬子 西ノ京町

春本 浩 北登美ヶ丘二丁目



10年以上民生委員その他法令
又は条例に基づき選任された
審議会等の委員の職にある人
又はあった人(9人掲載辞退)

民生委員・児童委員

武田 満男	三条町	今里 すみ子	八島町
中川 康子	西寺林町	山本 浩市	横井二丁目
村田 勝	三条町	奥村 雅昭	出屋敷町
高松 典正	鶴福院町	金子 文造	出屋敷町
中川 義一	中院町	辰田 伊嗣	南永井町
三井 サダ子	紀寺町	松浦 陽子	東九条町
荒木 緑	青山五丁目	大森 龍子	中山町
上野 みよ子	青山四丁目	吉川 俊彦	学園朝日元町二丁目
瀧川 誠	青山八丁目	山本 昌子	学園大和町二丁目
中村 操子	奈良阪町	黒岩 裕	中登美ヶ丘二丁目
松嶋 直美	東之阪町	石田 澄子	富雄川西一丁目
大西 文	佐保台三丁目	川勝 裕子	藤ノ木台三丁目
桑垣 博	佐保台二丁目	加藤 純子	帝塚山六丁目
土岐 治	西木辻町	浅野 篤子	学園緑ヶ丘二丁目
青木 たかみ	西木辻町	金子 さち子	朝日町二丁目
廣部 京子	桂木町	寺内 壽朗	北登美ヶ丘二丁目
安田 留美子	法蓮町	山森 重一	阪原町
松本 久男	芝辻町三丁目	東浦 久美子	南庄町
今中 智恵子	六条西六丁目	西峯 智永子	神功三丁目
大西 紀代	六条二丁目	川手 明	右京三丁目
小坂 純久	五条西一丁目	川脇 美智子	右京二丁目

介護認定審査会委員

久間 知子	青山七丁目
今泉 徹	西登美ヶ丘七丁目
岩井 均	高畑町
相 和代	恋の窪二丁目
内田 八重子	五条畑一丁目
川合 延枝	神殿町

奈良国際文化観光都市
建設審議会委員

伊藤 忠通	中山町西四丁目
増井 正哉	兵庫県芦屋市
中島 博	京都府宇治市
浦西 勉	奈良県宇陀市

市文化財保護審議会委員

15年以上消防団の団員として
勤続し特に功績が顕著な人

消防団15年以上

西森 英亮	月ヶ瀬石打
岡田 直巳	柳生町
奥田 敏也	東鳴川町
奥村 雅史	西九条町
西村 知義	神殿町
米沢 弘晃	山陵町
大曾根 進	石木町
吉松 容宏	菅原町
谷口 久男	大安寺四丁目

梅尾 厚弘 南肘塚町

大西 健滋 大安寺四丁目

秋澤 潤 神殿町

市の公益に関し功績が
顕著な人(1人掲載辞退)

健康の増進又は歯科衛生の
向上に貢献

秦 健司 西大寺国見町二丁目

馬場 淳 あやめ池南五丁目

森 直樹 登美ヶ丘三丁目

西川 佐太章 大阪市住吉区

田中 久雄 四条大路一丁目

青少年の
健全育成・非行防止に貢献

入江 文江 高畑町

学童の健康保持に貢献

市川 益子 京都府京田辺市

松浦 純子 六条西五丁目

善行表彰
(4人11団体)

市の公益のために多額の
財産を寄付した人・団体

岩本 潤三 右京四丁目

一般社団法人 金昌仁実践哲学
教育院

自己の危難をかえりみないで
人命を救助した人
(1人掲載辞退)

中尾 皇都 八条一丁目

森嶋 絢香 奈良市

善行が著しく市民の
模範となる団体

秋篠町婦人会

佐保台グリーンサポート
パンジークラブ

ボランティアグループ
町内きれいが一番

北登美ヶ丘2号公園
グリーンサポート有志の会

自由さろん

神殿第三公園ボランティアの会

サラの会

ほのぼの会

音訳グループびびき

点訳グループむつぽし会